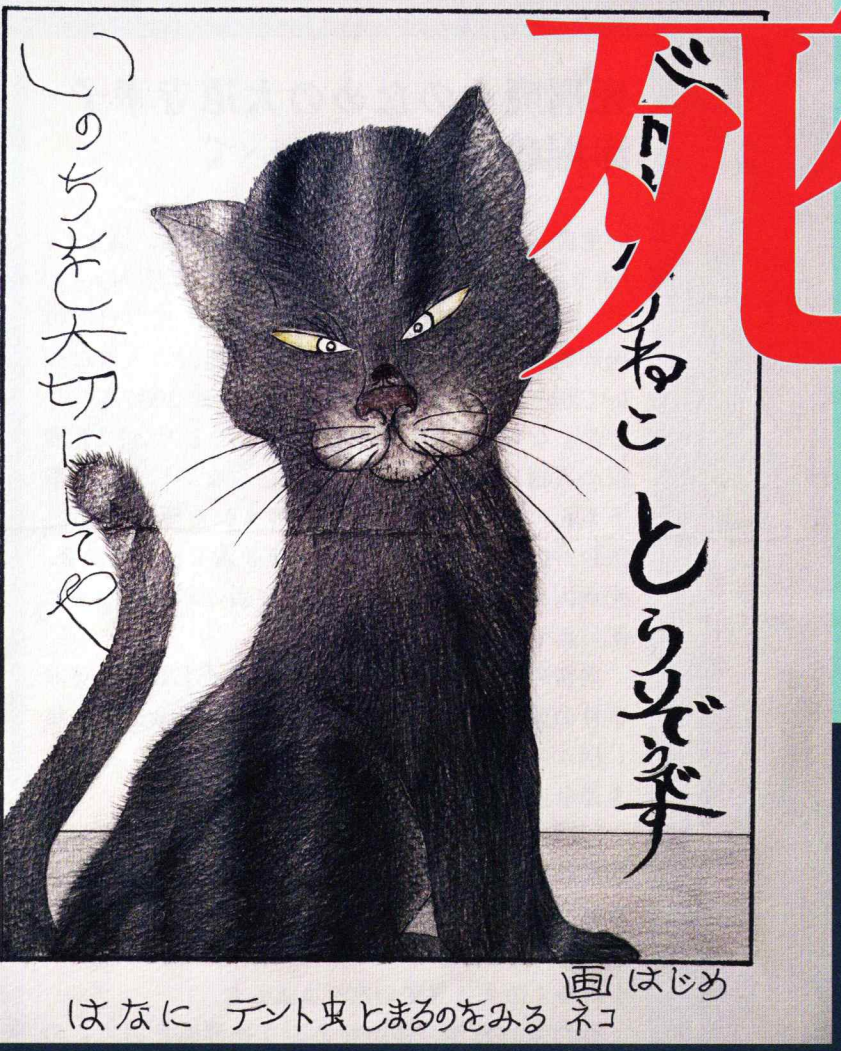
死刑囚表現展 2026



金川一「ベトナムのねこ　とらぞうです」

1月　9日（土・14時～19時）
1月10日（日・10時～17時30分）
1月11日（月・休日・10時～17時）

ギャラリートーク
1月10日18時から　入場無料・先着順

都築響一（写真家・編集者・ROADSIDERS' weekly 発行責任者）

20人の獄中画家たち

井上孝紘
北村親子兄弟
植松聖
奥本章寛
風間博子
金川一
北村孝
東西南北
何力
孝&明
長勝久
藤井政安
土肥博文
中田典広
西口宗宏
原正志
堀慶末
眞須美
山田浩二
露雲宇流布

入場無料

死刑廃止のための大道寺幸子・
赤堀政夫基金・死刑囚表現展

主催・死刑廃止のための大道寺幸子・赤堀政夫基金
共催・死刑廃止国際条約の批准を求めるFORUM90
インパクト出版会

107-0052 東京都港区赤坂2-14-13　港合同法律事務所気付　FAX03-3585-2330

2027年1月9日（土）～11日（月・休日）

文京区民センター2階2A会議室

〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目15－14



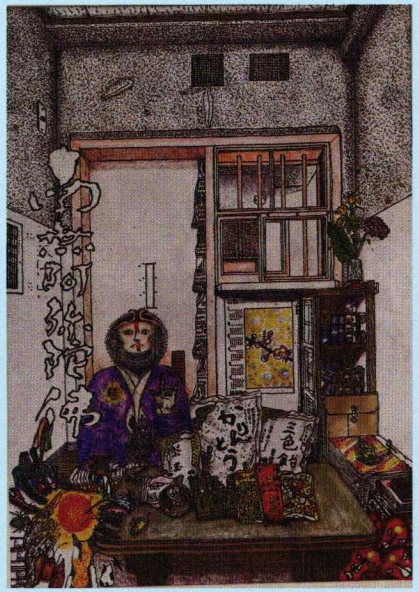
①



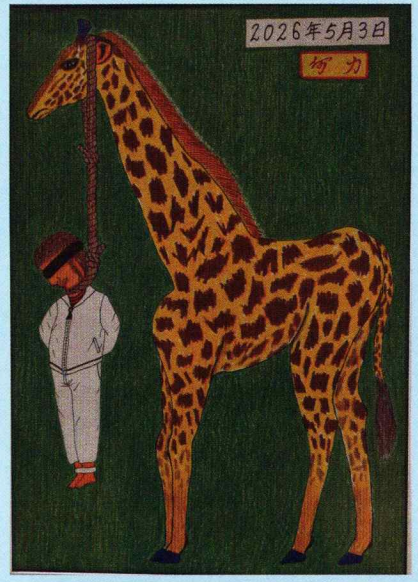
②



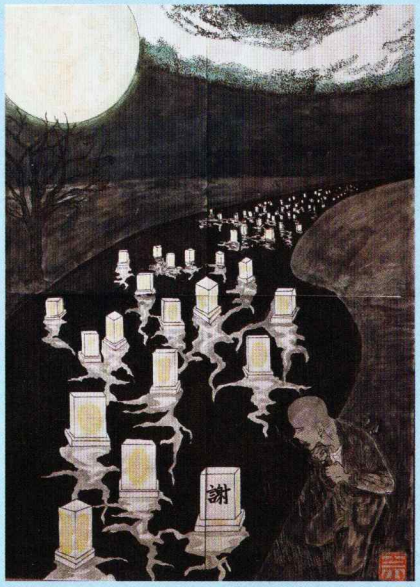
③



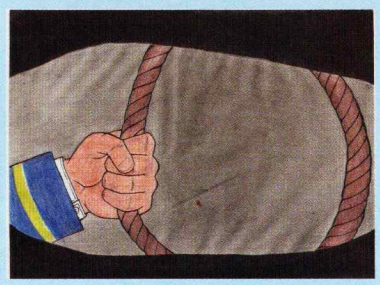
⑤



⑥



④



⑧



⑦

展示作品から　①風間博子「命―弐〇弐六の弐―ギョッギョパラダイス」　②井上孝紘「日本伝統刺青・鯉と金魚。左腕五分額彫り。立体。肌絵」　③植松聖「危機一髪」　④西口宗宏「詫びる」　⑤藤井政安「キンガシンネン　I LOVE YOU」　⑥何力「奇怪千万」　⑦露雲宇流布（長谷川静央）「自分でも分からない心の中」　⑧山田浩二「Wild fancy ～ある朝の出来事 From 友渕町の空の下：大阪拘置所内某処刑場にて～」

死刑廃止のための大道寺幸子・赤堀政夫基金について

生前、多くの死刑囚や獄中者に面会し、励まし、「生きて償う」ことを共に模索し、死刑囚の母として、社会、国際機関、メディアに対して、日本の死刑制度の実態、死刑囚処遇、死刑囚の人権について語り続けてきた大道寺幸子さんが2004年5月に亡くなりました。「死刑制度をなくしたい」「死刑囚の人権は保障されなければならない」という幸子さんの遺志を生かすため、遺された預金を元に、基金が創設され、死刑囚の再審請求等への補助金、死刑囚の表現展の開催と優秀作品の顕彰のために使われてきました。

当初の予定だった10年間が過ぎましたが、冤罪事件の元死刑囚赤堀政夫さんからも資金提供の申し出があり、2015年からは「大道寺幸子・赤堀政夫基金」として再出発しています。

「死刑囚の表現展」へ応募された文芸作品は何冊も出版され、絵画作品は全国各地の展示会で紹介され注目を集めてきました。海外でも2022年1月から12月末までパリのアル・サンピエールで展示され多くの人に見ていただきました。

私たちは毎年「響かせあおう死刑廃止の声」の集会で、その年の応募作品の講評や展示を行なってきましたが、スペースの関係で全点展示は出来ません。多くの人に見ていただきたいとの思いから、2026年度の全応募絵画作品を文京区民センターで2027年1月9日から3日間、展示します。ぜひ、ご来場ください。

表現展選考委員＝**小田原のどか／香山リカ／川村湊／北川フラム／栗原康／五所純子／早助よう子／太田昌国**